AIと共生しAIの脅威から人類を守るために

AIライフデザイン学部　AIライフデザイン学科 教授

鬘谷　要

KANAME Katsurayama



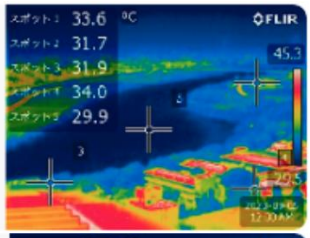
■専門領域：有機化学・高分子化学・コンピュータケミストリー・被服材料学・色彩学
■キーワード：AIの仕組み・人に優しいAI・化学・AIと色彩科学
・共創と調和・ファッション・AI教育
■研究者情報　：　https://researchmap.jp/katsuraya

教育・研究活動紹介

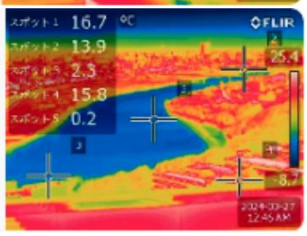
ドローンで環境調査

AIの仕組を本格的に理解し、AIを人に優しく、人の役に立つように、使う側から確立したいですね。赤外線サーモカメラ搭載ドローンを自由に使って、送られてくる画像をAIに解析してもらうことで、あなたの住む街から快適で、人に優しい街作りを考えて行きたいと思っています。温暖化の影響を制御することで、快適な生活を維持しましょう。









AIとの調和と共創を目指す

私が描く+AIの未来は、決してAIが前に出る社会ではありません。優れたAIほど、その存在を主張しない―そんな未来です。気づけばそばにいて、何も言わずに支えてくれている、主張せず、でも確かに人の力を引き出してくれる。+AIはそんな「静かなパートナー」であって欲しいと思います。AIの進歩は想定より遙かに速く、頭脳労働の全てを賄う様になってきました。これからの未来はそのAIの驚異的な力を、どうやって、私たちの幸せのために使うかに掛かっています。間違った使い方は私たちの生活や安全を脅かすだけでなく、人類そのものの存亡さえも危うくしかねません。これからの未来を担う皆さんこそがAIの能力を正しく理解し、安全な共創社会を作っていって欲しいと願っています。



実学へのつながり・産業界へのメッセージなど

教育と同時に企業や研究機関との共同研究に力を入れています。取り上げる研究テーマは、今困っていることの解決から、いつか未来に役に立つ夢の様な話まで、人と生活に密着した課題を扱っています。これからの学びと研究は、社会とのつながりが特に大切になっていきます。学生と社会とを繋いでいくことも大学の使命と考え、企業や自治体との接点を作っていきます。

論文・学会発表など

抗エイズウイルス薬の開発、機能性食品の開発、被服材料の気化熱解析、熱を制御する被服素材の開発、マイクロプラスチックの発生メカニズム、AIによる色彩表現、着やせ着太りの色彩効果、和服の着崩れなど、多岐に亘る分野で、学会発表、学術論文執筆、特許取得などを行っています。
学部に加え大学院での教育も重視し、大学院生（修士、博士）の育成や学会活動にも注力しています。